

窯業系サイディングとALCの技術融合による非住宅向け工法 「FIRDOLA（フィルドラ）」の全国展開を10月1日より開始

外装建材メーカーのケイミュー株式会社(本社：大阪府中央区、社長：木村均)と、住友金属鉱山シポレックス株式会社(本社：東京都港区、社長：青野義道)は、昨年11月に関東・首都圏エリアで先行発売を開始しご好評いただいている、窯業系サイディングと軽量気泡コンクリート(以下、ALC)の技術を融合させた非住宅向け工法「FIRDOLA(以下、フィルドラ)」の全国展開を2022年10月1日よりスタートします。

ALC×サイディング



ケイミューの窯業系サイディングは、デザインや塗装技術の進化により住宅の外観を長く美しく保ち、日本の戸建住宅の価値向上へ貢献してまいりました。また、住友金属鉱山シポレックスのALCパネルは、その優れた耐火・耐震性能と60年近い実績により、鉄骨造の中高層建築物において確固たる地位を築いてまいりました。両社は、日本の非住宅建築物の外装材において、長年培ってきた外壁材テクノロジーの融合により、耐火性能や安全性を確保しながらも、更に高いデザイン性や耐候性をもつ外装材へ進化させたいという思いで一致し、「フィルドラ」の技術開発を進め、2021年11月より関東・首都圏エリアにて発売いたしました。2022年4月からは発売エリアを近畿・中部へ広げ、このたび、2022年10月1日より全国展開を開始いたします。



非住宅向け工法「フィルドラ」は、ダブルレイヤー(2層)仕様の工法です。工場内で胴縁用アンカーを埋め込んだALCパネルをベース板「フィルドラ・ベース」とし、窯業系サイディングをデザインパネル「フィルドラ・デザイン」として重ねることで、ALCパネル「シポレックス」の優れた耐火性・耐震性で建物を守る性能と、窯業系サイディングパネル「ケイミュー」の多彩なデザインや光触媒技術の相乗効果により、非住宅に今までない新しい意匠性を生み出します。また、長い年月を経ても高い防水性と建物の美しさと強さを保ち続けるため、再塗装や打診検査などのメンテナンスコストを低減し、建物の長寿命化に貢献いたします。将来的にはフィルドラ・デザインのための交換も可能な可変性も持ち合わせるため、デザインの一変も容易です。

2022年7月よりフィルドラ・デザインには、複数のパネルの組み合わせで大判表現が可能な「ユニットパネル」や、セメント素材の質感を生かした「SOLIDO typeF facade」などのラインナップを新たに加えました。非住宅建築物に、さらなるこれまでにないオリジナルデザインをご提案します。今後も技術進化を続け、新しい価値を創出していくケイミューと住友金属鉱山シポレックスにご期待下さい。

非住宅向け工法「FIRDOLA（フィルドラ）」

1. 発売時期 全国展開 2022年10月1日

(先行発売エリア)

首都圏・関東エリア 2021年11月1日～

近畿・中部エリア 2022年 4月1日～

2. 販売目標 年間50万㎡（2024年度）

3. 特徴

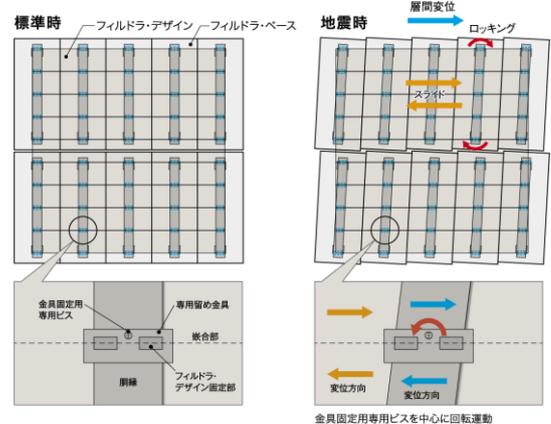
外壁材を重ねるダブルレイヤー仕様で、
美観と性能を高めます。

壁面の2層構成により高い防水性を確保するとともに、
「フィルドラ・ベース」は中層ロッキング構法を採用。
工場埋め込みアンカーで「フィルドラ・デザイン」をしっかりと固定し、
地震時の揺れによる変形追従は専用取付金具で柔軟に対応します。



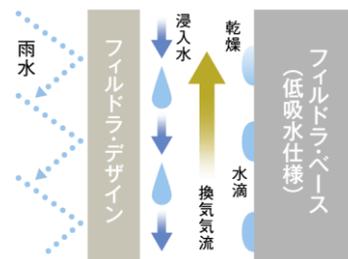
地震の揺れにパネルが追従して変形を緩和し、
割れ・剥がれ・落下などの事故を防ぎます。

■ 免震機能イメージ図



二重の壁面で雨水の浸入を遮り、もし内部に
水が浸入しても優れた防水機能を発揮します。

■ 防水機能イメージ図



「フィルドラ・ベース」に付着した水滴は内部に染みこみにくく、換気気流
でパネルが自然に乾燥。さらに炭酸化を防いで経年劣化も抑えます。

4. 特設サイト

新しくフィルドラ・デザインに加わった「ユニットパネル」「SOLIDO typeF facade」
などもご紹介しています。

<https://www.kmew.co.jp/shouhin/firdola/>

■ リリースに関するお問い合わせ先 ■

ケイミュー株式会社 経営企画部 06-6945-8146

住友金属鉱山シボレックス株式会社 企画部 03-3435-4655